

新たな制服導入に係る制服デザイン選定委員会(第1回) 【議事録】

令和5年11月14日(火) 18:30~20:00
壬生町立壬生中学校 図書室

1 ごあいさつ(学校長)

- ・令和4年度に校則見直しを行った。
- ・その過程で、新たな制服導入の必要性が高まった。
- ・プロセスを大切にしながらデザイン検討を行っていく。

2 自己紹介(別添名簿参照)

3 生徒会役員代表による発表

- 「より良い制服デザインを考える ～第1回アンケート結果(生徒・保護者)～」
- ・別添資料をもとに、生徒会役員がプレゼンテーションを行った。

4 協議

「より良いデザイン選定に向けて」

ファシリテーター AKASHI S.U.C. 臼井様・吉野様

(1) 全体スケジュールの確認

- ・トータルコーディネートでの絞り込み
- ・素材の絞り込み
- ・エンブレムの公募、デジタル化
- ・付属品、ポロシャツ、セーター等の検討

(2) 今後の流れ

- ・第2回サンプル展示→第2回アンケートを実施→第2回デザイン選定委員会

(3) ジャケット素材

- ・素材は、価格やデザイン等とのバランスの上で、検討調整する必要あり。
- ・最終的に決定したボトムス等が高価な仕様の場合、保護者の負担が大きくなる可能性があるため、価格面とのバランスの上で素材を再検討する可能性がある。

(4) 第1回アンケート結果の詳細

- ・壬生中に由来のある4色を軸にデザインを検討する。
☞陽炎の赤、黒川の青、若草の緑、白亜の校舎の白
- ・近隣学校との差別化も図る必要性あり
- ・ボトムスの柄のピッチ(大きさ)は、小さめにする。
- ・ネクタイとリボンの自由選択

(5) 協議・質疑応答

<委員A>

Q スラックスとスカートで柄のピッチ（大きさ）が異なっても大丈夫か。

A 大丈夫です。

<委員B>

Q 価格の上限は

A 現行制服の価格を参考に最終調整する。

<委員C>

Q サンプルマネキンは、スカート丈が「膝がかくれる程度」を用意できるか。

A マネキンの仕様上、難しい。

<委員D>

Q 多様性への配慮として男女同形のジャケットを希望する方がいた場合、対応は可能か。

A 体型に配慮した制服を提案する必要がある。多様性への配慮は、当社のレインボーサポーター制度により対応する。（自認している性や意向に合わせて、メーカー・学校・家庭で個別に話し合い、個別オーダーで対応する。）

<委員E>

Q 全体スケジュールや決定する項目を「見える化」してもらえるとよい。

A 対応します。

<委員F>

Q サンプルは細身のデザインだが、サイズ大きめのサンプルは用意できるか。

A 用意は可能だが、多様なデザインと多様なサイズを用意することになり、展示が膨大になる。展示のわかりやすさの点で困難がある。

<委員G>

Q ポロシャツの検討の際は、かがんだときにボトムスから下着が見えないように。

A 対応します。





※ 次 回 12月中旬予定 (Formsによる日程調整の上、後日通知します)